

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）【理工学研究科（博士後期）】

理工学研究科（博士後期課程）では、理学や工学の既成概念にとらわれず、科学技術の高度化・多様化に順応できる幅広い視野を持ち、学際的課題を解決し得る柔軟で総合的な判断力を有する高度専門職人及び研究者を養成するという観点から、学位授与の方針（ディプロマポリシー）を定めて、以下に該当する者に対して、「博士（理学または工学）」の学位を授与します。

【機能創成科学専攻】

- ・理学や工学の既成概念にとらわれない科学技術の高度化・多様化に順応できる幅広い視野を修得していること。
- ・専門技術者・研究者として活躍できる課題探究・問題解決能力を修得していること。
- ・学際的課題を解決し得る柔軟で総合的な判断力を修得していること。
- ・(i) 知識・理解, (ii) 当該分野固有の能力, (iii) 汎用的能力別に以下の内容を修得していること。
 - (i) 知識・理解
 - ・専門分野に関する深い知識と体系的な理解および洞察力を獲得する。
 - ・学際分野に進出できる柔軟な思考力を獲得する。
 - ・異分野との融合への強い関心と理解を示す。
 - ・高度な専門職業人・研究者としての社会的責任を自覚する。
 - (ii) 当該分野固有の能力
 - ・最先端の研究を行い、その成果を国際的に発信する能力を獲得する。
 - ・広い意味での物づくりに対し、理学的・工学的・社会的視点に立脚した俯瞰的な理解と応用力を獲得する。
 - ・21世紀社会での学際的課題の立案・解決能力を獲得する。
 - (iii) 汎用的能力
 - ・日本語を含む二カ国語でのコミュニケーション能力を獲得する。
 - ・コンピュータを駆使した高度なデータ解析や可視化の手法を獲得する。

【安全システム工学専攻】

- ・理学や工学の既成概念にとらわれない科学技術の高度化・多様化に順応できる幅広い視野を修得していること。
- ・専門技術者・研究者として活躍できる課題探究・問題解決能力を修得していること。
- ・学際的課題を解決し得る柔軟で総合的な判断力を修得していること。
- ・(i) 知識・理解, (ii) 当該分野固有の能力, (iii) 汎用的能力別に以下の内容を修得していること。
 - (i) 知識・理解
 - ・専門分野に関する高度な知識を体系的に理解する。
 - ・学際分野に進出できる柔軟な思考を修得する。
 - ・異分野との融合への強い関心と理解を持つ。
 - ・技術者としての社会的責務の自覚を持つ。
 - (ii) 当該分野固有の能力
 - ・自然と調和した豊かで安全な社会の構築に必要な総合的・学際的な能力を修得する。
 - ・地域社会の質向上、地域の安全管理等に実践的に関わることができる能力を修得する。
 - (iii) 汎用的能力
 - ・地球的視野および歴史的視点から多面的に物事を考える。
 - ・種々の情報や技術を統合して活用する。
 - ・解決すべき課題を先見的に認識し、創造的に問題を解決する。
 - ・社会の貢献に資する研究を行い、その成果を国内外に発信する。
 - ・高度専門職業人および研究者として自律的、継続的に活動する。